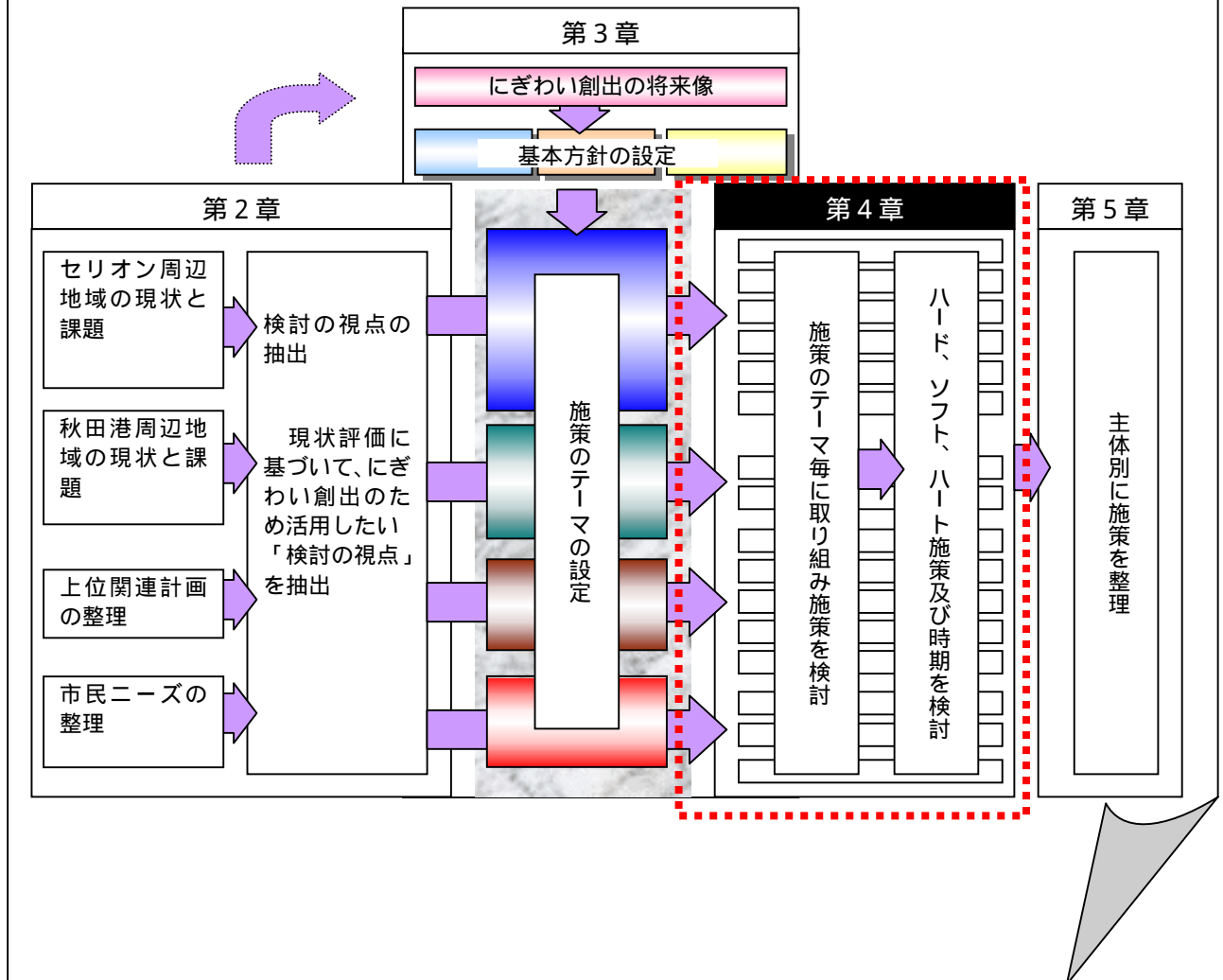


第4章 みなとのにぎわい創出に向けた取り組み

本章では、みなとのにぎわい創出の基本方針に基づく施策テーマごとに、検討の視点に基づいて、取り組むべき施策について検討します。

各施策について、施設整備や改修などに関わるハード、仕組みづくりなどのソフト、心の育成などに関わるハートなどの3つの視点でやるべきこと、実施すべき時期について整理します。



1. 取り組み施策

(1) みなと観光「みなとオアシス」としての素材と機能強化

テーマ1 目的観光地として機能強化
みなと観光「みなとオアシス」としての素材と機能強化

検討の視点	(1)セリオンの展望者数が増加した今が好機。この好機を活かせないか？	(2)効果的なイベントを定期的に開催できないか？	(3)定期フェリーによる観光客誘致を狙えないか？	(4)セリオン付近への大型観光船の係留はできないか？	(5)中島ふ頭とセリオンをつなぐ移動手段を用意できないか？	(6)セリオン周辺に必要な構造物はないか？	(8)セリオンと秋田マリーナの連続性を持たせられないか？	(14)セリオンとその周辺施設の魅力を高めるために、市民ニーズを反映できないか？
-------	------------------------------------	--------------------------	--------------------------	----------------------------	-------------------------------	-----------------------	------------------------------	--

地域の素材	利用者のニーズ (第2章4(1)市民ニーズの整理より)	取り組み施策	取り組む視点別施策			取り組む時期		
			ハード (設備改修、整備など)	ソフト (仕組みや取り組み)	ハート (心の育成)	短期	中期	長期
場の素材 港湾・船舶：風景、知識、秘密、歴史 国際物流拠点(環日本海地域) 港町の歴史	港海に近い特性を活かした地元ならではの	見る 一体的エリアとしての演出 ・ サイン、広報の充実 ・ 新たなエリア名称づくり ・ 歩行者動線づくり 【検討の視点】(1)(2)(5)(14)	案内板、サイン整備 周辺施設間の自転車歩行者道路の整備	一体地域パンフレット 本日の寄港船舶情報発信 待ち合わせの場所イメージづくり(待ち合わせはセリオンで)	エリア名称募集 シンボルデザインコンテスト 港の案内人(マイスター)育成	→		
		知る 眺める、視ること、知ることの演出、PR ・ 夕日、夜景の紹介、PR ・ 展望カメラ ・ 船舶、湊の機能、設備の紹介 【検討の視点】(1)(2)(14)	展望カメラの設置とHPでの映像放映	夕日、夜景を楽しむ時間帯の展望喫茶 本日の船舶紹介、港の説明のための情報連携(国、県との連携) 北前船の歴史、学習機会	夜景を楽しむ会 セリオン写真コンテスト 港で働く人との交流会		→	
秋田市 ランドマーク(目立つ) 展望：港湾、市街地、夕日、夜景 ポートタワー (セリオン) 施設内設備：レストラン、展示場、会議場 施設外設備：駐車場、多目的広場、舗装道路	港海に近い特性を活かした地元ならではの	食べる “海、山、里の幸”“多国籍”の食機能強化 ・ 地域の海・山・里の幸を食す。 ・ コンテナ就航先の料理を食す。 ・ 秋田を、土崎を食す。 (食事とファーストフードなど) 【検討の視点】(1)(2)(3)(14)	セリオン内レストランの改修	海・山・里の幸、秋田、土崎メニュー(ハタハタ、かに、海草類、カスベなど) コンテナ就航先料理フェリー寄港にあわせた食事の提供	料理コンテスト 料理教室 新メニュー開発コンテスト			→
		港湾レジャー、舗装面を使った楽しみ ・ 湊内クルーズ ・ つり広場 ・ 乗り物広場 【検討の視点】(1)(2)(3)(4)(14)	浮き桟橋の整備、配置 休憩施設(ベンチ等)の配置	港内外クルージング体制づくり 釣り客用商品、食事の提供 大型客船受入体制づくり	旅行、レジャー雑誌等へのPR 大型客船誘致運動			→
セリオン リスタ 屋内緑地(全天候型)	港海に近い特性を活かした地元ならではの	楽しむ 波の音、海の香りを感じる癒し ・ 海の癒し、夕日、夜景、潮風にあたりながらの散策ルート(車いす、自転車での安全な歩行空間) 【検討の視点】(1)(2)(4)(6)(14)	自転車歩行者道の整備(安全対策、部リアフリー) 休憩施設(ベンチ等)の配置	港散策ルートマップづくり	癒しのベイエリア構想づくりによる啓蒙(医療、治療等への効果調査分析)			→
セリオン ブラザ 多目的ホール・休憩室・トイレ		海、山、里のおみやげ陳列設備 セリオン周辺へのクルーザー、船舶などの一時停泊設備(ちょっとした買い物、コンビニエンスストアへの誘導)	フェリー客、観光客用おみやげ陳列 秋田市民の買い物陳列	おみやげコンテスト 秋田マリーナでのPR 旅行会社等との連携			→	
秋田フェリー ターミナル 西日本、北海道からの来客	港海に近い特性を活かした地元ならではの	癒す						
秋田マリーナ 小型船舶、港ならではの風景		買う 港湾ならではの買い物 ・ 秋田のお土産(フェリー客、観光客) ・ 地域の海・山・里の幸を買う ・ クルーザーでちょっとかいもの 【検討の視点】(1)(2)(3)(8)(14)						→

(2)「道の駅 セリオン」としての素材と機能強化

テーマ2 立寄施設としての機能強化
「道の駅 セリオン」としての素材と機能強化

検討の視点

(1)セリオンの展望者数が増加した今が好機。この好機を活かせないか？

(3)定期フェリーによる観光客誘致を狙えないか？

(7)セリオン前を通過する男鹿観光客をセリオンに立ち寄らせることはできないか？

(12)幹線道路から臨港道路13号及びセリオンへのアクセス性の改善はできないか？

地域の素材	「道の駅」としての強み	取り組み施策	取り組む視点別施策			取り組む時期			
			ハード (設備改修、整備など)	ソフト (仕組みや取り組み)	ハート (心の育成)	短期	中期	長期	
<p>場の素材</p> <ul style="list-style-type: none"> 港湾・船舶：風景、知識、秘密、歴史 国際物流拠点(環日本海地域) 港町の歴史 	<p>道の駅セリオン化の強み 広大な駐車場が既にあること トイレなどの施設があること(24時間対応化が必要) みなとオアシスとのダブル認定になる 前面道路が男鹿観光などの主要道路となっている</p> <p>道の駅の条件</p> <p>3つの機能を有すること 休憩機能 情報提供機能 地域連携機能</p> <p>、 について24時間利用可能であること</p> <p>・駐車場等が概ねの設備が完備されていること ・道の駅間の距離が近くないこと(近隣は道の駅てんのう、道の駅いわき：概ね20km程度)</p> <p>「道の駅」化の効果</p> <p>広報効果 ・道の駅HP ・ロードマップ等のパンフレット ・国土交通省関連雑誌等での紹介 など 道の駅連携イベントへの参画 ・スタンプラリーなど 道路標識での案内誘導の実現 ・道路標識で、道の駅として案内される。</p>	<p>道の駅として必要な設備づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 休憩施設(トイレなど) 情報提供施設(道路情報、観光情報) 地域連携機能(周辺地域情報) <p>24時間使用可能であること</p> <p>【検討の視点】(1)(3)(6)</p>	<p>ハード (設備改修、整備など)</p> <p>24時間トイレ(バリアフリー)の設置 情報端末(道路交通情報、観光情報)の整備 駐車場向け電光掲示</p>	<p>ソフト (仕組みや取り組み)</p>	<p>ハート (心の育成)</p>				
<p>秋田市</p> <ul style="list-style-type: none"> ランドマーク(目立つ) 展望：港湾、市街地、夕日、夜景 施設内設備：レストラン、展示場、会議場 施設外設備：駐車場、多目的広場、舗装道路 		道の駅に申請手続き	<ul style="list-style-type: none"> 道路管理者の理解と協力(単独型) 		道の駅化に向けた協議会設立			→	
<p>セリオン・ ボート</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋内緑地(全天候型) 		道の駅 セリオンの位置付けの明確化による情報計画	<ul style="list-style-type: none"> 道路情報：男鹿観光、フェリー就航者の行く先情報 観光情報：土崎地域情報、男鹿観光、市内観光 <p>【検討の視点】(1)(3)(6)</p>		敷地内サイン計画 新鮮な情報入手システムづくり(男鹿観光施設の予約、夕日の時間、道路路面・気象情報) 地域(土崎など)の情報や楽しみ提供できる仕組み	案内人(情報のコンシェルジュ) 地元の触れ合い		→	
<p>セリオン・ プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 多目的ホール・休憩室・トイレ 		道の駅実現のための課題	<ul style="list-style-type: none"> セリオン前面の道路管理者の理解と協力 認定必要条件のための設備整備 <p>【検討の視点】(1)(3)(6)</p>	地域物産販売ブースなど	地域物産販売の仕組みなど			→	
<p>秋田フェリー ターミナル</p> <ul style="list-style-type: none"> 西日本、北海道からの来客 	アクセス改善	<ul style="list-style-type: none"> 国道7号からのアクセス改善(男鹿へ、秋田市内へ、秋田北側から) <p>【検討の視点】(1)(3)(6)(12)</p>	交差点改良(国道7号) 標識整備					→	
<p>秋田マリーナ</p> <ul style="list-style-type: none"> 小型船舶、港ならではの風景 								→	

(3)「土崎みなとまちめぐり館」の構築

テーマ3 土崎地区と来訪者の連携中継点としての機能拡充

「土崎みなとまちめぐり館」の構築

検討の視点

(10)土崎地域の歴史・文化的な素材を活用できないか？

(11)セリオンと地元商店街が連携した取り組みはできないか？

地域の素材	土崎の魅力	取り組み施策	取り組む視点別施策			取り組む時期				
			ハード (設備改修、整備など)	ソフト (仕組みや取り組み)	ハート (心の育成)	短期	中期	長期		
<p>場の素材</p> <ul style="list-style-type: none"> 港湾・船舶：風景、知識、秘密、歴史 国際物流拠点(環日本海地域) 港町の歴史 	<p>港からはじまった土崎の歴史再現</p> <p>フェリーで、観光バスで、マイカーで港(セリオン周辺)を訪れた人々が、土崎をめぐる。港の歴史、文化、みなとまち再現を図ります。</p>	<p>セリオンでの地域情報案内</p> <ul style="list-style-type: none"> 土崎地区歴史、文化情報発信 土崎湊まつり、空襲の博物館 土崎商店街情報(本日の目玉) <p>【検討の視点】(10)(11)</p>	<p>歴史、文化情報発信ブース</p> <p>土崎商店街情報ブース</p>							
<p>ランドマーク(目立つ)</p> <p>秋田市ポートタワー(セリオン)</p> <p>展望：港湾、市街地、夕日、夜景</p> <p>施設内設備：レストラン、展示場、会議場</p> <p>施設外設備：駐車場、多目的広場、舗装道路</p>		<p>土崎地区の地域素材(温泉、商店、隠れた名店)</p> <ul style="list-style-type: none"> 土崎地区 温泉、商店街情報 商店街共同割引チケット販売 <p>【検討の視点】(11)</p>		<p>商店街共同チケットづくり</p> <p>情報共有システムづくり</p>						
<p>セリオン・リスタ</p> <p>屋内緑地(全天候型)</p>		<p>土崎地区住民のセリオン周辺地域活用</p> <p>セリオン内に</p> <ul style="list-style-type: none"> サークル、趣味(写真、手芸などの展示会) 土崎地区 各種団体のご紹介 <p>【検討の視点】(11)</p>	<p>展示ブースづくり</p>		<p>土崎地区住民優先展示コーナー(わが町の自慢)</p>					
<p>セリオン・プラザ</p> <p>多目的ホール・休憩室・トイレ</p>		<p>点と点をつなぐ道づくり</p> <p><セリオンに駐車して></p> <ul style="list-style-type: none"> モデルルートづくり(スタンプラリー) ルートサイン計画、まちなかナビゲーション 自転車で巡る(貸自転車、自転車タクシー) トイレマップ <p>【検討の視点】(10)(11)</p>	<p>貸し自転車場</p> <p>自転車タクシー</p> <p>商店街と一体まちなび</p> <p>商店街内トイレネットワークづくり(既存トイレの活用、改修)</p>	<p>スタンプラリーの仕組み</p> <p>まちなかナビゲーションづくり</p>	<p>まちなか案内人</p>					
<p>秋田フェリーターミナル</p> <p>西日本、北海道からの来客</p>										
<p>秋田マリーナ</p> <p>小型船舶、港ならではの風景</p>										

(4)「フレンドシップ みなとまち」の構築

テーマ4 心のふれあいの拠点としての機能強化
「フレンドシップ みなとまち」の構築

(13)市民協働による“みなとまち”づくりはできないか？

検討の視点

地域の素材	土崎の魅力	取り組み施策	取り組む視点別施策			取り組む時期		
			ハード (設備改修、整備など)	ソフト (仕組みや取り組み)	ハート (心の育成)	短期	中期	長期
<p>場の素材</p> <ul style="list-style-type: none"> 港湾・船舶：風景、知識、秘密、歴史 国際物流拠点(環日本海地域) 港町の歴史 		<p>セリオンファンクラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セリオンファンクラブ(会員特典づくり) <p>【検討の視点】(13)</p>		ファンクラブ結成	みなとまちを愛し、自慢する人づくり	→		
<p>秋田市ポートタワー(セリオン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ランドマーク(目立つ) 展望：港湾、市街地、夕日、夜景 施設内設備：レストラン、展示場、会議場 施設外設備：駐車場、多目的広場、舗装道路 	<p>人づくり、仲間づくり</p> <p>市民などによるサポーター支援体制づくりの実現とてなしの心づくりの実現を図ります。</p>	<p>多様な市民の参画(一人一人が案内人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 案内人講座 <p>【検討の視点】(13)</p>		案内人制度づくり		→		
<p>セリオン・リスタ</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋内緑地(全天候型) 		<p>支援のための体制作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政：市、県、国 ・ 地域：地域団体、地域商業者団体など <p>ハード、ソフト、ハートづくりの支援体制づくり</p> <p>【検討の視点】(13)</p>		支援体制協議会の設立			→	
<p>セリオン・プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 多目的ホール・休憩室・トイレ 								
<p>秋田フェリーターミナル</p> <ul style="list-style-type: none"> 西日本、北海道からの来客 								
<p>秋田マリーナ</p> <ul style="list-style-type: none"> 小型船舶、港ならではの風景 								

2. 施策一覧

市が行うこと

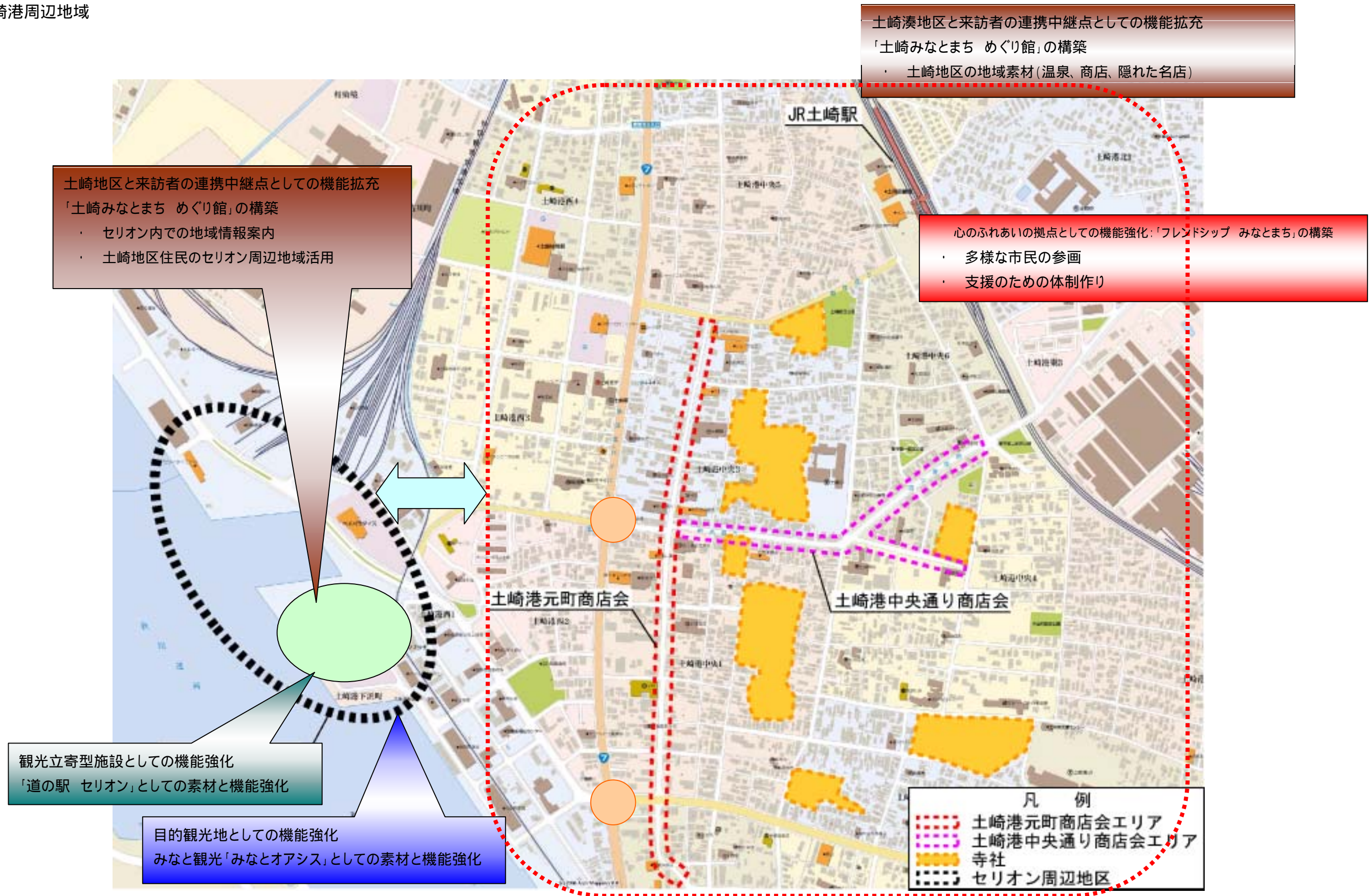
県・国が行うこと

支援団体等共同で行うこと

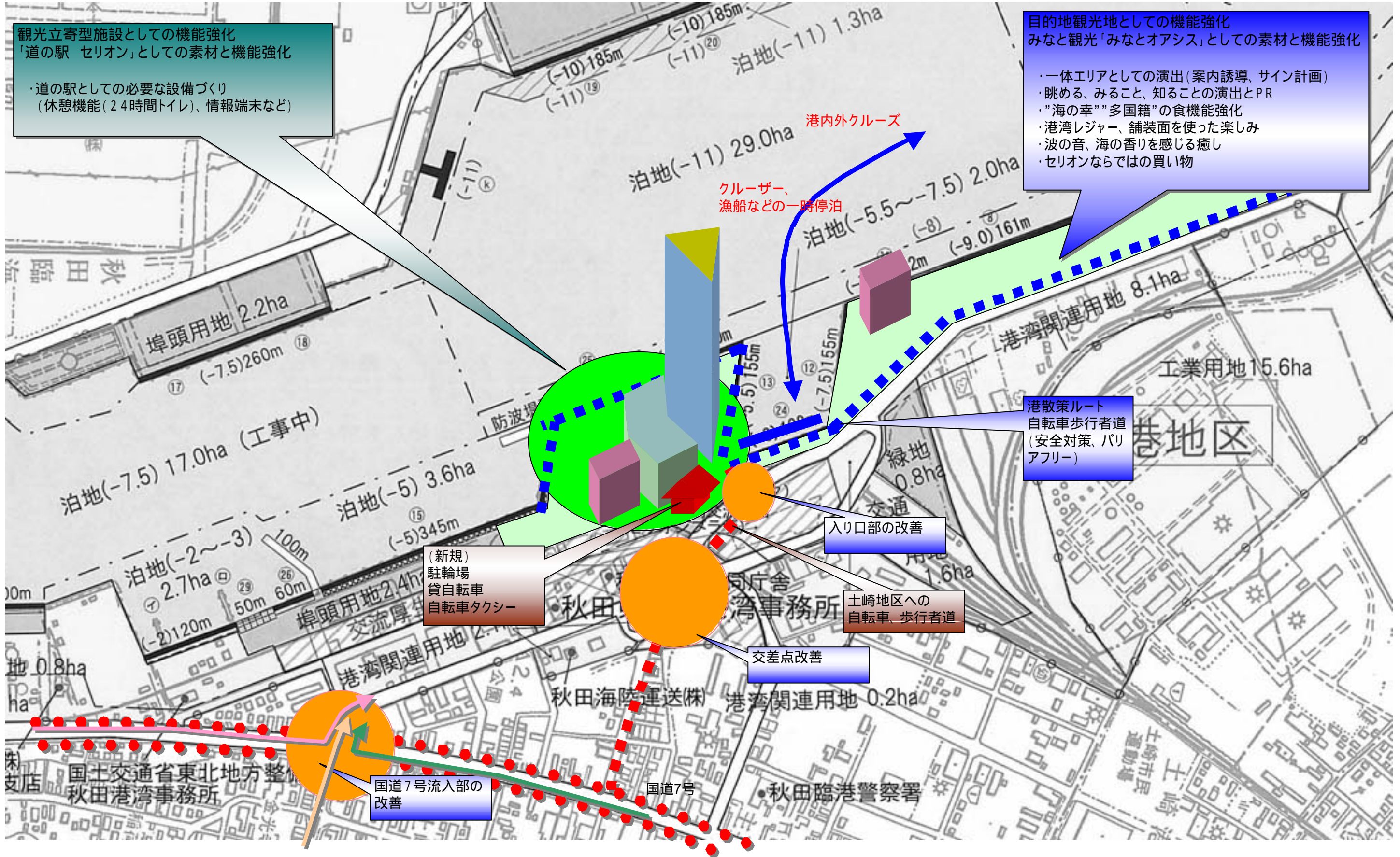
施策テーマ	取り組む施策	ハードづくり (設備改修)	ソフトづくり (仕組みづくり)	ハートづくり (心の育成)
1. 目的観光地としての機能強化：みなと観光「みなとオアシス」としての素材と機能強化	一体的エリアとしての演出	案内板・サイン整備 周辺施設間の自転車、歩行者道整備	一体地域パンフレット 本日の寄港船舶情報発信 街ち合わせの場所イメージづくり(待ち合わせはセリオンで)	エリア名称募集 シンボルデザインコンテスト 港の案内人(マイスター)育成
	眺める、見る、知るの演出とPR	展望カメラの設置とHPでの映像放映	夕日の時刻公告 夜景の楽しめる喫茶 本日の船舶紹介 港の設備紹介 北前船の歴史、学習機会	夜景を楽しむ会 セリオン写真コンテスト 港で働く人との交流
	“海の幸”“多国籍”の食機能強化	セリオン内レストランの改修	海・山・里の幸、秋田、土崎メニュー(ハタハタ、かに、海草類、カスベなど) コンテナ就航先料理 フェリー寄港にあわせた食事の提供	料理コンテスト、料理教室 新メニュー開発コンテスト
	港湾レジャー、舗装面を使った楽しみ	浮き桟橋の整備、配置 修景、ボードウォーク	港内外クルージング体制づくり 釣り客用商品、食事の提供 大型客船受入体制づくり	旅行、レジャー雑誌等へのPR 大型客船誘致運動
	波の音、海の香りを感じる癒し	自転車歩行者道の整備(安全対策、バリアフリー) 休憩施設(ベンチ等)の配置	港散策ルートマップづくり	癒しのベイエリア構想づくりによる啓蒙 (医療、治療等への効果調査分析)
セリオンならではの買い物	海、山、里のおみやげ陳列設備 クルーザーなどの一時停泊設備(ちょっとした買い物コンビニエンスストアへ)	フェリー客、観光客用お土産陳列 秋田市民の買い物の陳列	お土産コンテスト 秋田マリーナでのPR	
2. 観光立寄型施設としての機能強化：「道の駅 セリオン」としての素材と機能強化	道の駅として必要な設備づくり	24時間トイレ(バリアフリー)の設置 情報端末(道路交通情報、観光情報)の整備 駐車場向け電光掲示 地域物産販売ブースなど	道の駅化に向けた協議会設立 敷地内サイン計画 新鮮な情報入手システムづくり(男鹿観光施設の予約、夕日の時間、道路路面・気象情報)地域(土崎など)の情報や楽しみ提供できる仕組み 地域物産販売の仕組みなど	案内人(情報のコンシェルジュ) 地元の触れ合い
	アクセス改善	国道7号からの流入動線の確定(標識整備) 交差点改善、アクセス道路整備	-	-
3. 土崎地区と来訪者の連携中継点としての機能拡充：「土崎みなとまちめぐり館」の構築	セリオンでの地域情報案内	歴史、文化情報発信ブース 土崎商店街情報ブース	-	-
	土崎地区の地域素材(温泉、商店、隠れた名店)	-	商店街共同チケットづくり 情報共有システムづくり	-
	土崎地区住民のセリオン周辺地域活用	展示ブースづくり	土崎地区住民優先展示コーナー(わが町の自慢)	-
点と点をつなぐ道づくり	貸し自転車場 自転車タクシー 商店街と一体まちなび 商店街内トイレネットワークづくり(既存トイレの活用、改修)	スタンプラリーの仕組み まちなかナビゲーションづくり	まちなか案内人	
4. 心のふれあいの拠点としての機能強化：「フレンドシップ みなとまち」の構築	セリオンファンクラブ	-	ファンクラブ結成 案内人制度づくり 支援体制協議会の設立	みなとまちを愛し、自慢する人づくり
	多様な市民の参画(一人一人が案内人) 支援のための体制作り	-	-	-

3. 計画全体図

(1) 土崎港周辺地域



(2)セリオン周辺地域



観光立寄型施設としての機能強化
「道の駅 セリオン」としての素材と機能強化

- 道の駅としての必要な設備づくり
(休憩機能(24時間トイレ)、情報端末など)

目的地観光地としての機能強化
みなと観光「みなとオアシス」としての素材と機能強化

- 一体エリアとしての演出(案内誘導、サイン計画)
- 眺める、みること、知ることの演出とPR
- 「海の幸」多国籍の食機能強化
- 港湾レジャー、舗装面を使った楽しみ
- 波の音、海の香りを感じる癒し
- セリオンならではの買い物

(新規)
駐輪場
貸自転車
自転車タクシー

港散策ルート
自転車歩行者道
(安全対策、バリアフリー)

入り口部の改善

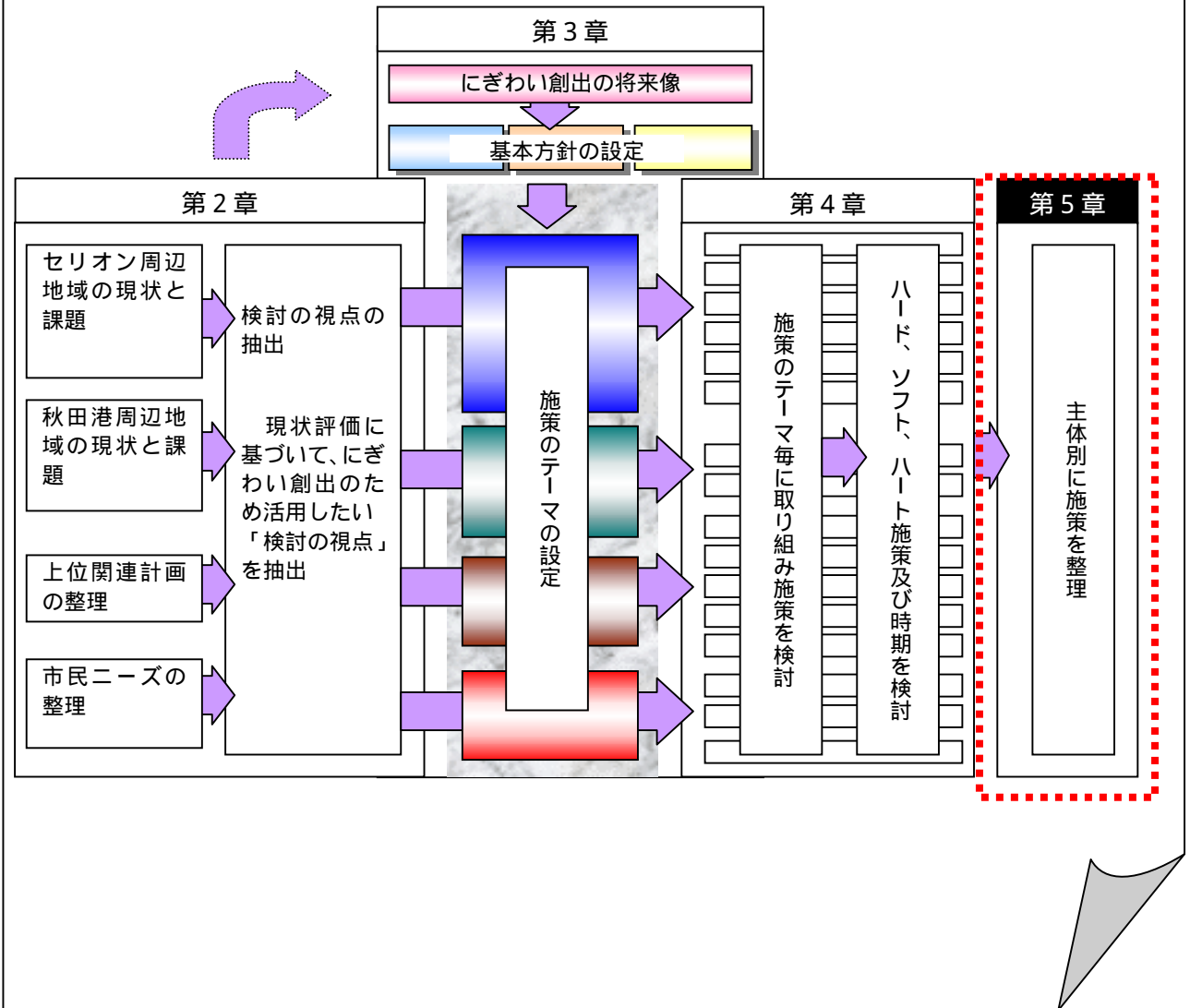
土崎地区への
自転車、歩行者道

交差点改善

国道7号流入部の
改善

第5章 みなとのにぎわい創出に向けた事業

本章では、第4章で掲げたみなとのにぎわい創出に向けた各施策について、実施主体別に整理し、みなとに関わる人たちの役割分担をまとめました。



1. 実施主体別の取り組み施策

様々な主体の関わりにより、にぎわいは実現することとなります。このため、主体別に、さらにそれをいつまでに進めるか、目標を持った実行が求められます。

期間テーマ		短期(すぐやること)	中期(3年後までには実施しておくこと)	長期(実施に向けて十分な議論を進める)
		今がチャンス、みなとまちのにぎわいに関わる思いを語り、共通のイメージを持つこと。 3年後までに実施することの準備をはじめること。	秋田市ポータタワーの目的観光地としての機能、立寄機能の基盤が作られる。 土崎地区との中継交流拠点としてのスタートの準備が整う。 支援の体制が出来上がる。	道路網などの基盤整備が進んでいる。 土崎地区との連携が図られている。
実施主体				
秋田市	みなと観光「みなとオアシス」としての素材と機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 夕日の時刻公告 夜景の楽しめる喫茶 夜景を楽しむ会 セリオン写真コンテスト 料理コンテスト、料理教室 新メニュー開発コンテスト 旅行、レジャー雑誌等へのPR エリア名称募集 シンボルデザインコンテスト 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺地域の案内板・サイン整備 周辺施設間の自転車、歩行者道整備 展望カメラの設置とHPでの映像放映 セリオン内レストランの改修 海・山・里の幸、秋田、土崎メニュー（ハタハタ、かに、海草類、カスベなど） コンテナ就航先料理 フェリー寄港にあわせた食事の提供 港内外クルージング体制づくり 釣り客用商品、食事の提供 フェリー客、観光客用お土産陳列 秋田市民の買い物物の陳列 地域物産販売の仕組みなど お土産コンテスト 秋田マリーナでのPR 	
	「道の駅 セリオン」としての素材と機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 登録のための協議および準備 	<ul style="list-style-type: none"> 24時間トイレ（バリアフリー）の設置 情報端末（道路交通情報、観光情報）の整備 駐車場向け電光掲示 地域物産販売ブースなど 海、山、里のおみやげ陳列設備 本日の寄港船舶情報発信設備 本日の船舶紹介設備 	<ul style="list-style-type: none"> 案内人（情報のコンシェルジュ、マイスター） 地元の触れ合い
	「土崎みなとまち めぐり館」の構築		<ul style="list-style-type: none"> 歴史、文化情報発信ブース 土崎商店街情報ブース 展示ブースづくり 	
	「フレンドシップ みなとまち」の構築		<ul style="list-style-type: none"> ファンクラブ結成 案内人制度づくり 支援体制協議会の設立 	
秋田県	みなと観光「みなとオアシス」としての素材と機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 港で働く人との交流 	<ul style="list-style-type: none"> 本日の寄港船舶情報提供 本日の船舶情報提供 港の設備紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車歩行者道の整備（安全対策、バリアフリー） 浮き桟橋等の整備、配置 休憩施設（ベンチ等）の配置 クルーザー、船舶などの一時停泊設備（ちょっとした買い物コンビニエンスストアへ） 港の案内人育成
	「道の駅 セリオン」としての素材と機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅化に向けた協議 		<ul style="list-style-type: none"> 国道7号からの流入動線の確定（標識整備） アクセス道、交差点改善
	「土崎みなとまち めぐり館」の構築			
	「フレンドシップ みなとまち」の構築			
国土交通省	みなと観光「みなとオアシス」としての素材と機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 癒しのベイエリア構想づくりによる啓蒙（医療、治療等への効果調査分析） 		
	「道の駅 セリオン」としての素材と機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅化に向けた協議 		<ul style="list-style-type: none"> 国道7号からの流入動線の確定（標識整備） 交差点改善
	「土崎みなとまち めぐり館」の構築			
	「フレンドシップ みなとまち」の構築			
市民などみんな	みなと観光「みなとオアシス」としての素材と機能強化		<ul style="list-style-type: none"> 一体地域パンフレット 待ち合わせの場所イメージづくり（待ち合わせはセリオンで） 港散策ルートマップづくり 	
	「道の駅 セリオン」としての素材と機能強化			
	「土崎みなとまち めぐり館」の構築		<ul style="list-style-type: none"> 商店街共同チケットづくり 情報共有システムづくり 土崎地区住民優先展示コーナー（わが町の自慢） スタンプラリーの仕組み まちなかナビゲーションづくり 北前船のイベント、学習機会 	<ul style="list-style-type: none"> 貸し自転車場 自転車タクシー 商店街と一体まちなび 商店街内トイレネットワークづくり（既存トイレの活用、改修） まちなか案内人 みなとまちを愛し、自慢する人づくり
	「フレンドシップ みなとまち」の構築			
学術研究機関	みなと観光「みなとオアシス」としての素材と機能強化	<ul style="list-style-type: none"> 癒しのベイエリア構想づくりによる啓蒙（医療、治療等への効果調査分析） 	48	